

研究発表

学校名 金井高等学校 P T A

研究テーマ 「夢かない高校」

生徒たちが夢を叶えるために P T A が出来る事

～ Believe, and your dreams can come true ～

1. はじめに

今回、掲げたテーマは「夢かない高校～生徒たちが夢をかなえるために P T A が出来る事」です。

実現のためにどのように P T A 活動として取り組んでいるのかを中心に発表いたします。

2. 学校紹介と P T A 本部

《学校紹介》

今年 45 年目を迎えた金井高校は第 17 代校長、江里口校長先生のもと日々進化を続けています。



金井高校は戸塚区と栄区の境に位置し、戸塚駅と大船駅の間にあります。駅から離れていることもあり、自転車通学の生徒が約 8 割、徒歩とバス通学の生徒が約 2 割という状況です。



校舎の中庭には、大きなシンボルツリーがあり、毎年文化祭では、こちらの木を囲むように飲食のテントが並び、元気のいい生徒の呼び込みや、いい匂いが漂います。

「自ら学び、考え、判断し行動する生徒の育成」という学校教育目標のもと、より多くの生徒が活躍できるよう工夫をこらしています。

例えば、「かなキャン」です。かなキャンとは、「かないキャンパスナビゲーター」の略です。学校説明会の時等に司会進行、学校案内を行なっています。その他、陸上競技大会や文化祭等にお

いても生徒が司会進行、プレゼンを行い、人前で話すことに慣れ、自己表現出来る機会を増やしています。

制服についても、去年は、女子の夏用スラックスが出来ました。ある女子生徒の保護者が、「女子の夏用スラックスが無く、子どもが暑くて大変です。何とかならないでしょうか」と相談したところ、数ヶ月で生地を決めて頂き、出来あがりしました。

真夏の学校生活も部活動も快適になりました。

今年は、男女共に紺色のポロシャツを作成しました。今までは、白のポロシャツ、白のワイシャツだけでしたが、決められた校則のなかで少しおしゃれを



楽しめるようになりました。学校と生徒でデザインし投票で出来あがりしました。

次世代をになう生徒たち、地域の要望と現状を考えた地域連携では、さまざまな行事に生徒たちは参加しています。

まずは食育。夢かないクッキングと称し、近隣小学校の生徒と保護者、金井生が一緒になり、食事の大切さや火の取り扱いなど、実際に調理を行いみんなで楽しく会食し、片付けるという食生活の一連の流れを行っています。この他、地元のパン屋さんとコラボした商品を金井祭で販売。今年も美味しいパンが並びました。



地域貢献としましては、防災訓練、餅つき等の地域行事への参加、近隣小学校から生徒の下校の際に不審者が出ているという話を聞けば、何か出来ることはないかと運動部の顧問に相談、生徒がトレーニングで走っているコースを小学校の通学路の方に変更。見守りを兼ねたトレーニングへ。勿論、我が校の生徒の安全を確保するために、必



ず2人で走るようにとルールを決めました。

進路が決まり、将来教員等を目指す生徒を中心に、小学校の朝練のお手伝いを行っています。今すぐでなくても、卒業して10年後20年後、地域に戻って来た時に地域に溶け込みやすいように、若い力を発揮できるようにと、学校と地域で連携をはかっています。



《PTA 本部》

本部では、「PTA 活動には、興味はあるが、実際毎回委員会活動には参加するのは難しい」そんな保護者の皆さんに、少しの時間でも学校に関わることが出来るよう、かなサポ(金井高校サポーター)を募集し、本部と共に活動していただいています。

球技大会での飲料配布、夏場は冷たいものを、冬場は温かいものを用意、生徒たちも試合の合間をぬって水分補給です。

金井祭での夢かないどら焼きの販売、この商品は毎年大変盛況で、買い求めた受験生は合格を願って食べると



ご利益があるとかないとか等々。我が子の活躍を見つつ、本部の活動に参加いただいています。来年度以降も「かなサポ」の皆さんが活躍できる場を作っていけたらと考えております。

各委員会の皆さんが、委員会活動に専念できるように今年度は、実行委員会開催を11回から8回にして運営して行く予定です。

各委員会の意見を聞きつつ活動しやすいよう努めていきたいと考えております。

3. 委員会活動

《学年委員会》

学年委員会では子供たちの夢を叶えるため学校と連携して各種行事のお手伝いをしています。毎年秋に、学年委員会主催の茶話会を1学年2学年で開催しています。

10月に1学年の茶話会と外部(ベネッセ)講習会を同時開催しました。

第1部では、大学入学共通テストについてベネッセの高橋講師をお招きし、講習会を行いました。新制度について保護者も不安が多く熱心に講師の話に耳を傾けていました。



第2部では、先生から金井1年生の家庭学習状況、学校での過ごし方、ネット使用状況など話をお聞きしました。またe-ポートフォリオについてもお話を頂きました。

第3部では、学年委員会を中心に保護者のみで茶話会を行いました。同じ保護者同士、子どもの家での様子、勉強時間、自転車通学の多い我が校ならではの交通マナーなどについて心配事の共有ができました。授業終了後の先生も参加して下さり、クラスの様子も伺え充実した一日になりました。

修学旅行後の11月に2学年茶話会を行いました。スライドや子どもたちの作成した修学旅行の

掲示物を見ながら修学旅行の様子や事前学習の様子を先生からお聞きしました。先生方が撮っていただいた写真には現地で楽しく過ごしている様子や家では見せない顔がたくさん写っていて、保護者間で会話が弾み楽しい時間を過ごすことができました。後日、子どもと自宅で楽しい会話が弾んだと楽しそうに述べられたお母さまもいらっしゃいました。保護者や親子の間の話題作りとなる茶話会は学年委員会の大切な行事に思えた経験でした。

最後に学年委員会では、年間を通して学校行事の受付のお手伝いをさせて頂いております。また卒業式では毎年コ



サージュと記念品、花束の準備をしています。思い出に残る卒業式になるよう3学

年の委員を中心に数か月かけて品物の選定をしています。

このように学年委員会では学校、生徒、保護者をつなぐお手伝いをさせて頂いております。これらの活動が子どもたちの夢が叶うお手伝いになればと思っています。

《成人教育委員会》

成人教育委員会では生徒をサポートしている保護者の方たちを応援しています。

一年間に3つの行事を運営しています。

- ・大学見学バスツアー
- ・講演会または講習会
- ・観劇（劇団四季など）

今回はその中でも大学見学バスツアーについて運営上の舞台裏も含めて詳しく紹介いたします。今年は横浜市立大学と関東学院大学を見学しました。参加費は500円なのですが、案内状を作り、配布して蓋を開けてみると大幅な定員割れ。45名中35名しか集まりませんでした。このままでは契約上参加費を値上げしなくてはなりません。

原因はというと

- ・手紙が子供で止まっていた
- ・後で申し込もうと思って忘れていた

などの声が上がりました。そこで期日を1週間延長し、併せて一斉メールを送信し、無事に満員御礼で出発することが出来ました。

いざ横浜市立大学へ！最初に学校説明を受け、キャンパス内を見学、その後学食に移動しました。大学では食力が身につく学食が用意されていま

した。また、副菜の種類が豊富で自分で選べるようになっていました。ある保護者の食事力です。いかがですか？この品数で、お値段驚きの390円！



身体にもお財布にも優しい学食でした。

次の関東学院大学では現役の学生さんからお話を伺う事ができました。



案内を担当してくれた鈴木先生はなんと金井高校18期卒業生でした。先生も母校というところで楽しみにしていて下さったそうです。続いて学生さんにキャンパス内を案内してもらいました。最後にチャペルの前で集合写真を撮り、帰路に着きました。

参加した方からは

- ・学生さんの生の声が聴けて良かった。
- ・子どもへのアドバイスの参考になった。
- ・楽しかった。

また参加したい。と言って頂きました。

これからも成人教育委員会は楽しく活動して参ります。



《広報委員会》

広報委員会は行事の取材、編集を重ね、7月、



3月の年2回広報誌を発行しています。生徒や保護者、地域の方に学校の様子がわかるように職員紹介や部活動紹介を掲載しています。

広報委員はお揃いの赤いジャンパーを着て取材します。大きな行事の一つ陸上競技大会はありがたいことに毎年のように晴天で暑さとの闘いながらの撮影です。暑くても着ていられず赤いジャンパーを腰に巻いたりカバンに結び付けたりします。



生徒たちが最も楽しみにしている行事の一つの金井祭や音楽祭。取材する私たちも生徒を身近に



感じられ、シャッターを切る回数も数が増えます。

このような取材を通して、普段目にする事のない学校での様子や生徒が熱意をもって取り組む姿。先生方の生徒へのあたたかな愛情や丁寧な関わり方を目にします。

夢をもって日々活動している生徒の姿とともに伝えできればと思い、委員一丸となってこれからも奮闘していきます。

《環境安全委員会》

環境安全委員会は年間を通して生徒に関わる作業が様々あります。

その中でも生徒の安全に直結する通学路指導は年に数回行われています。自転車走行中のイヤ

ホンの使用や並列走行などは交通違反にもつながるのでより力が入りません。生徒の約8割が自転車通学という自転車大国金井高校なのです。



先生方とも協力して、駐輪場の整備にも心がけています。校舎をぐるっと囲むほどの広大な駐輪場があり、多くの生徒が自主的に定位置に駐輪してくれていますので、通常は私たちの作業はそんなに負担なく行うことができます。

また、学校の顔とも言える正門付近に季節の花々を植え、季節を感じ、彩り豊かに生徒や来校



者をお出迎えしています。来月の植え替え時にはクリスマスを意識して植え替える予定です。

校内ではトイレの手洗い場と流し台の清掃を月1回の定例会の時に生徒たちが気持ちよく生活できるよう頑張っています。



そして、金井祭では交通安全のアピールを兼ねて様々な年代に合わせたクイズをして頂き、交通规则を楽しく学んでもらっています。

《金井会》

金井会は今から41年前に設立されたPTAのOB・OG会です。私たちは金井生と現役のPTAを応援する応援団です。私たちの応援内容を発表いたします。

毎年6月に定例会を開催しています。

初代 PTA の方々、歴代校長先生、そして、現役からも 40 人前後の方々が参加されます。



初代 PTA の方々は本当にお元気です。40 年前の PTA で培った『ワクワクする活動』が元気の源だとおっしゃっています。私たちは、いつも元気をいただいています。毎年 7 月に金井高校のペンキ塗りをお手伝いしています。5 年前の 40 周年を契機に PTA とのコラボ



が実現しました。今では生徒も参加して、毎年の恒例のイベントです。継続は力です。快適な学び舎環境のため、今後も継続してまいります。

11 月、金井高校に知的障害高等部金井分教室が設置されている鎌倉養護学校の文化祭があります。金井高校 PTA が、「夢かないどら焼き」を販売しています。金井会も販売のお手伝いしています。楽しい裏話がたくさんあるのですが時間の関係で本日はここまでです。



「できる人ができる時間に楽しく活動する」金井会でした。

4. 最後に

このメンバーで行う PTA 活動は、45 年の金井高校の歴史のなかのたった 1 年間です。

生徒たちにとっても保護者にとっても金井高校での生活は、長い人生の中のたった 3 年間、その時間をいかに色濃く実りあるものにできるかが大切な事だと思います。

PTA 活動も「できる時にできるひとが楽しく活動」をモットーにこの生徒たちの笑顔がいつまでも続くことを願います。

生徒を支えてくれている学校、保護者、金井会、地域と多くの皆様に感謝しております。ありがとうございます。

金井高校は、これからも前進していきます。